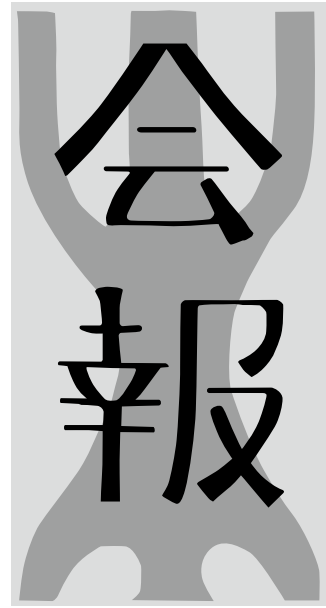
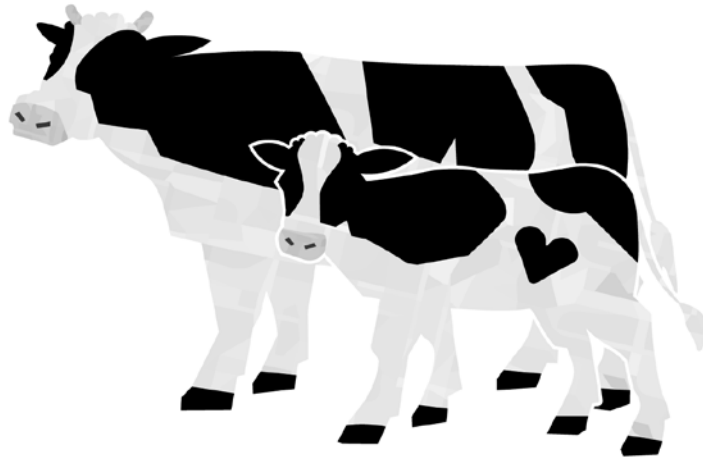


年頭所感



日本私立小学校連合会

〒102-0073

東京都千代田区九段北4-2-25

私学会館別館6階

電話 03(3261)2934

あけましておめでとうございませす。本年もよろしくお願い申し上げます。

昨年六月より本連合会の会長を引き受けしております。コロナ禍のために全国の皆様と親しく交流できる各種のチャンスが奪われたまま年が明けてしまいました。一年前炬燵でお正月を寿いでいるときは、まさか百年ぶりのパンデミックに襲われるとは思いませんでした。この新型コロナウイルスは社会生活を大きく変容させています。「三密」回避リモート社会。いつでも手洗いいつでもマスク。どこでも消毒どこでも距離を。その他多くの新しい生活様式が浸透した一年でした。昨年十月七日に出された「中教審」初等中等分科会の「中間まとめ」冒頭に「社会の在り方そのものがこれまでとは『非連続』と言えるほど劇的に変わる」とあります。この「非連続」とは人工知能(AI)の Society5.0 時代がもたらす社

年頭所感

**社会の激変に対応できる
人間教育を**

日本私立小学校連合会会長
東京都立大学付属小学校校長

重永 睦夫

て眼前に体験しているとも言えます。振り返れば百年前の「スペイン風邪(インフルエンザパンデミック)」は第一次大戦を終わらせ国際連盟の設立による新しい世界秩序を生み出しました。もっともこの新秩序はファシズムの台頭により十年程度で機能しなくなり第二次大戦の暗雲を招きます。この大戦のさなか日本では私立小学校廃止の閣議決定がなされます。幸い英知ある先人の奔走と結果によって撤回させることができ今があります。このたびのコロナパンデミックにも新しい社会・世界を生み出す予感がありますが、今度こそは暗雲を呼び込むことなく確かな明るい社会を創っていかねければなりません。そのためにも「二〇二〇年代の教育宣言」にあるようにAI時代だからこそ人間らしさを追求する教育をしまりましょう。そして「私学はひとつ、教育は私学から」の合言葉を大切にしてまいりましょう。

会の激変を意味しています。が、奇しくも私たちは「非連続」的変容がどのように起こるか、コロナ禍によっ

年頭所感

After コロナの時代に

日本私立小学校連合会副会長
青山学院初等部部长

中村 貞雄

前の社会に戻る」という思いは間違っているように感じます。Withの後にはAfterコロナという新しい社会、

「二〇二〇新語・流行語大賞候補三十語」が十一月に発表されました。今年も、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行に翻弄された年で、候補三十語の半分以上がコロナ関係でした。(ちなみに流行語大賞は「三密」。昨年は、ラグビーワールドカップの「ONE TEAM」)

昔から人類の敵は飢餓と疫病、そして戦争と言われてきましたが、それにして科学が進みAI社会の現代に、突然のように国難とも言える新型コロナウイルスが現れ、瞬く間に感染が世界に拡大し、この様になるとは誰も考えてもいなかったはず。昨日までの街の景色が全く変わり、社会の変化のスピードが加速していることを認識し、それに併せて教育も様々アップデートする必要があります。

With コロナの後には「コロナ以

教育がやってくるはず。その一方で、どんな社会にあっても教育の原点は「人を育てる」ことであり、学校創立の「建学の精神」は、After コロナにあっても大切に守らなければと再認識しています。

今、改めてアメリカの神学者、ニーバーの祈りに耳を傾けたいと思います。

「神よ、変えることのできるものについて、それを変えるだけの勇気をわれらに与えたまえ。変えることのできないものについては、それを受け入れるだけの冷静さを与えたまえ。そして、変えることのできるものと、変えることのできないものとを、識別する知恵を与えたまえ。」
本年もどうかよろしくお願い致します。

年頭所感

いまこそ私学の力を

日本私立小学校連合会副会長
桐光学園小学校校長

斎藤 滋

本大震災の際に、私たちは私立小学校の繋がりや無さを実感し、それをなんとかしたいという声から、メー

新春のお慶びを申し上げます。

二〇二〇年「今年の漢字」は「密」になりました。コロナウイルス対策として常に意識してきた三密(密閉、密接、密集)は、学校では子どもたちの命を守るために特に気を付けていることですが、もともと、この「密」は、私たちが共に生きるために様々な場面で、親しい関係を作り、きめ細かい気遣いができるという意味で使われていたはず。まさに、これは学校において、子どもたちを思い、教員たちが協力して自分たちにできることにベストを尽くすという私たちの精神につながるものだったのだろうと私は考えます。

さて、昨年は感染予防対策を進める中で、加盟校間の情報交換の大切さを感じ、実際にネット上にブログを設けて、多くの学校の実情と様々な対策を投稿してもらいました。このような対応ができた背景には、二〇二〇年の東日

ル連絡網などを構築することができていたことがありました。なお、現在は少し形を変えた方法で情報共有ができていますが、今後はその輪をさらに広げていきたいと考えております。

今後のことですが、これまでのような感染予防策を講じながら、私たちは子どもたちと共に前に進む必要があります。ギガスクール構想の前倒しによる様々な機器を使った学習活動が進められていくことでしょう。日私小連のメディア教育部会で研修を積んでこられた先生方が中心になって準備をされている学校もあるでしょう。今まさに、これまでに研修で培った力をそれぞれの学校の発展のために發揮していただきたいですし、学校間の物的、人的な交流によって確かな教育力をつけていくことで、様々な分野で私学が公教育をリードしていくことができるかと確信しています。

年頭所感

人間の根を張ろう 「岩を抱く松」

日本私立小学校連合会副会長
城南学園小学校校長

山北浩之

新年おめでとうございます。

私は現在、法隆寺の近くに在住しています。法隆寺には素晴らしい松並木があり、私は、その松並木を見るたびに、作家の水上勉さんが話されていた「一本の松」の話を思い出します。

水上さんが、北海道を旅行された時のことです。ふと山の上を見た時、一つの風景が水上さんの目に留まりました。山の頂上近くに大きな松の木があり、それが巨大な岩の上に立っているのです。近づいてみると、大空に向かって枝を大きく広げている松の太木は、幹のあちこちから樹液が流れ出ており、何百本もの数えきれない根が、大きな岩の表面や裂け目を這い回り、大地を求めてしっかりと根を下ろしているのです。それはまるで岩を抱きかかえて、汗と涙を流しながら一生懸命生きる老い

た松の厳しい生涯のように思われました。

私たちは、自分の抱えている岩を投げ捨てようとし

たくなりがちです。しかし、そういう岩をしっかりと抱き、それに汗と涙を流して、その周りに数限りない根を張ることににより、初めて私たち自身が立派な強い太木として、魅力のある人間に成長することができるのです。

悩みから逃げたいけません。新型コロナウイルス感染症の大流行により世界が大きく変化する中、悩みがあるからこそ、私たちは人間らしく、太木のように生きることができるといふことを常に心に置き、強く生きていきたいものです。本年も宜しく願っています。

年頭所感

私学は一つ

日本私立小学校連合会副会長
聖ドミニコ学院小学校校長

土井智子

今年、東日本大震災から十年目の年となります。思い返すと、二〇一一年は、地震による被害、保護者支援、福島原発事故に伴う放射能：次々に問題が起きました。北海道・東北地方の私学は、日私小連をはじめ、私学の方々の支援・励ましを受け、学校運営を続けることができました。

新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため休校要請を受けた二〇二〇年もまた、一年を通して混乱の年となりました。コロナ禍は世界中で起きた問題ですから、私たちだけがといたことではありません。けれども、文部科学大臣のGIGAスクール構想早期実現の表明には、大きな影響を受けました。本校は、予算などの問題もあり先延ばしにしています。

「私学は一つ」というメッセージを、

私は繰り返し聞いておりましたが、今回の危機も私学の仲間の支えがありました。GIGAスクール構想

に向けての道筋を一つ一つ丁寧に教えてくださった学校がありました。突然の電話でお願いした時、惜しげもなく情報を公開し、その活用を快く了承してくださった学校がありました。苦労を重ねて作り上げてきたことを、伝えてくださる善意にただ感謝しています。

地域を超えて助け合う私学の仲間がいるからこそ、私たちは建学の精神のもとで、教育活動を続けることができます。自校だけでは解決できない問題も、私学の仲間が助けられます。

「私学は一つ」この言葉を実感する体験を重ねながら、少しでも他校にお役に立てる学校を目指して、二〇二一年度のスタートを切っています。

年頭所感

新たな未来を築くのは 教育の場です

日本私立小学校連合会副会長
敬愛小学校校長

堀 奈緒美

初春のお慶びを申し上げます。本年もどうぞ宜しくお願いします。

さて、令和二年は、このたびの新型コロナウイルス感染拡大により、人類がこれまでに体験したことのない危機に直面しました。日本全国の小学校は学校行事を実施することさえできない異例の年になりました。今もなお、児童・保護者・教職員の皆様は、いつ収束するか予測がつかない不安もさらに募っていることと拝察いたします。

さて、日本私立小学校連合会の研修会同様に、九州地区の令和2年度の諸研修会は開催しないことといたしました。九州地区の先生方で一つの学校に集まり、互いに情報交流・研鑽を進める場を設けることができず、令和三年度も開催できるかどうかはまだ不透明な状況です。

しかしながら、このような状況下

でも、全国の私立小学校の先生方が、子どもたちの学びを一步でも二歩でも進めようと、工夫をこらしなが

ら前進している事例を、メディアやインターネットを通じてたくさん出会うことができました。力強い先生方の行動力に感動いたしました。「教育は私学から」の言葉があるように、公立小学校に先んじて、先行して色々な取り組みを行った先生方の努力は、きつと子どもたちに大きなチカラを与えたことでしょう。まだまだ困難な局面を脱したわけではありませんが、各学校の創意工夫が新たな未来をつくる礎となることは間違いないと確信しています。未来社会を担う子どもたちを育むのは、教育の場です。加盟校に通う児童の皆さんが、実り豊かな学校生活を送られること、そして、各校の先生方の今後のご健勝をお念じ申し上げ、新年のご挨拶いたします。

年頭所感

白神山地に思う

日本私立小学校連合会顧問

小泉 清裕

昨年の紅葉の時期に長年の願いが叶って、ブナの自然林で有名な白神山地を訪れることができた。そして、ガイドに案内されて、ほんのわずかな時間だったが森の中に足を踏み入れた。

森にはブナだけでなく、カツラ、トチ、サワグルミ、イタヤカエデ、ミズナラやコナラなど、さまざまな木々が適度な間隔で立っていた。地面には光が差し込んで明るく、多種類の小灌木や草などが生えていた。

白神山地の代表的な木のブナは、二〇〇年から三〇〇年ほどの寿命だとガイドが説明してくれた。八〇〇〇年の歴史を誇る白神山地のブナの寿命があまりに短いことに驚いた。ブナは、先に成長している木がそばにある場合には、自分の成長を遅らせて、森全体のバランスを保っているそうだ。そのため、木の大きさや太

さで、樹齡は判断できないとのことである。ブナ林は大地に大量の水を蓄え、その水で森を守

り、木々が落とした葉や実で昆虫や小さな植物、さらに森に暮らす多種類の動物を育み、多様な生き物が生息する場所を提供してきた。そして、白神山地は次々に世代を更新しながら、八〇〇〇年という年月を繋いできた世界でも稀な自然林である。

私たちの日本私立小学校連合会は、やっと八〇歳を迎えるところである。白神山地の歴史と比べると、あまりに短い営みであるが、その営みによって、日本の私立小学校の存在を意義あるものとし、今後めざしていくべき真の教育に向けて日々精進し、改善の道を歩んでいる。白神山地の森のそれぞれ異なる木のように、各私立小学校が、独自の特徴を維持しながら、同時に、相互に協力をして、世界に誇れる日本の小学校教育という森を、これからもさらに育てていくことを願う年明けである。

新 年ご挨拶

西武学園文理小学校

校長 飛田 浩昭

新しい年をお健やかに迎えのこ
とお慶び申し上げます。

コロナ禍の感染予防対策で多くの
学校行事が中止や延期になり、新し
い生活様式への対応に躍りになった
旧年でした。授業日数を確保し、子
どもたちの健康を守り、日々の教育
の技を子どもたちに定着させていく
ために努力や工夫があった一年でし
た。

コロナ後の新しい社会が模索され
る今年です。リモートワーク、オン
ライン授業を体験した私達は、人と
人が直接会わなくても意思が伝わ
り、決定が下せるということが分か
りました。しかし、教育は、そう
はいかないことも分かりました。小
学生の発達段階では、社会性を育ま
なければ人としての成長がありませ
ん。体験的な学習が多い私立小学校
の児童は、子どもたちの社会性を鍛

え、その感性の形容詞が多くなつて
いくことで AI 時代を生き抜いてい
く素地を身に付けていくことになる
のです。今回のコロナ禍は日本だけ
でなく、世界が同時に同じ経験をし
たことから、新しい価値観や生活様
式、新しい考え方や行動様式が生ま
れ、地球市民として同じ方向に向か
うベクトルが定まってくる一年に
なってくるでしょう。皆様の学校の
上に実り豊かな一年であるようにお
祈りしています。

チ ャンスの年に

国本小学校

校長 小林 省三

朝会講話で、子どもたちにイソッ
プ寓話『アリとキリギリス』を紹介
した。夏休みを短縮し、いち早く通
常登校にしたものの、子どもたちか
ら少し不満の声を聞いたからだ。ア
リは炎天下にもかかわらず、冬に備
えて食べ物を蓄えた。毎日のんびり
とバイオリンを弾いて過し、冬を迎

えたキリギリスは食べ物をアリにお
願いしたところ、アリは気持ちよく
分け、バイオリンの演奏を聞かせて
ねとまで言った。国本小学校の児童
はアリであることを伝え、寒い冬が
やって来ても、ゆとりのある生活が
できると約束した。子どもたちは納
得し、真夏の学習を思い出していた。
すべてが異例だった昨年。あえて教
師との対面授業にこだわった。
万一、子どもや教師が感染症にかか
れば、学校を去ろうとまで思いつめ
た。しかし、教育歴四十数年の勤が
冴えた年だった。感謝。

子 どもの夢を大切に

昭和学院小学校

校長 鈴木 祐子

新年おめでとうございます。
昭和学院小学校は、建学の精神の
もと、一人ひとりの個性を伸ばし、
素直でのびのびとした心を育てるこ
とを大切にしています。
変化の激しい今という時代を生き

る子ども達が自分の夢を持ち夢に向
かって進めるよう、また、社会で貢
献できる人となれるよう、私たちは
応援していきたい。そのためには、
伝統を大切にしながらも常に前進す
る学校でありたいと考えています。
本年もどうぞ宜しくお願い致しま
す。

笑 顔いっぱい規律・ 感動・夢のある 学校

岐阜聖徳学園大学附属小学校

校長 水谷 啓

コロナ禍の中でも、児童は、学習
や行事、休み時間など、新しい生活
様式の中、新たな伝統を創り出そう
と頑張っています。

本校では、児童一人一人の日常の
生活の中に笑顔があふれ、規律と感
動があり、夢を抱き、附属小学校で
育ったことを誇りに思える学校づく
りを目指し、全職員が一丸となって
教育活動に取り組んでいます。

そのために、何人にも何事にも感
謝の心をもつこと、どんな困難にも、

知恵を出し考え工夫すること、何事にも勇気をもって、失敗を恐れず挑戦していくことを大切にしています。志をもち、どんな困難にも知恵を出し勇気をもって立ち向かう逞しい附属っ子に育つことを願っています。

Mastery for
Service

関西学院初等部
校長 田近敏之

二〇二〇年は、コロナ禍により誰もが予測もなかった一年となりました。何が正しいのか分からない状況の中で、短時間で情報を収集し、判断し、行動することが求められました。関西学院初等部は、“Mastery for Service”（社会と人のために自らを鍛える）」というスクールモットーを持っています。このスクールモットーは普遍的な理念であると同時に今回のような危機的な状況において、さらに大きな意味を持つことがわかりました。まだコ

ロナ禍の収束は見通せません。新しい年も、人と人とのかわり合いを大切に、他者のために、他者とともに自らを鍛え、他者とともに歩むことのできる子どもたちの姿を目指して私たち自身も学び続けたいと考えています。

年
頭にあたって

椋山女学園大学附属小学校
校長 森和久

新年おめでとうございます。昨年は新型コロナウイルス感染症対策に、試行錯誤しながら粘り強く知恵を絞らなければならぬ一年でした。予測困難な時代にあつて、変化を前向きに受けとめ、柔軟に、よりよい人生を切り拓いていく子どもを育てるといふ新学習指導要領の趣意のかどうか、まさに問われています。本校では、これまでも「人間になる」という学園の教育理念のもと、

伝統に根ざすと共に先進の考え方を取り入れた特色ある様々な教育活動を行って参りました。そこで目指している「試行錯誤」「粘り強さ」「自立」「協働」「自分の頭で考える」「自分の言葉で表現する」ということが、今の世の中で切実に求められていることなのだというのを、改めて心に刻み、教育活動を進めて参りたいと存じます。本年も、ご指導・ご支援をよろしく願います。

正
解のないものに
挑む

甲南小学校
校長 祢津芳信

謹んで新年のお喜びを申し上げます。誰もが経験したことの無いコロナ禍の状況下ではありますが、工夫をしながら、子どもたちには、できるだけたくさん学習体験をさせてあげたいと考えています。私たち大人が知恵を出し合い、正解のないものに挑んでいく姿を、子

どもたちに示すチャンスなのかもしれません。これからの不透明な時代を生き抜く逞しさを身につけ、健全な常識を持った世界に通用する人物の育成を目指します。

また、創立一一〇周年を迎えるにあたり、運動場の全面人工芝化の工事を行っています。新しい運動場で子どもたちが元気よく走り回る姿を楽しみにしています。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

新
年への抱負

東海大学付属静岡翔洋小学校
校長 江崎雅治

新年、明けましておめでとうございます。本校は一九六七年四月、東海大学の創立者松前重義が目指す一貫教育の理想を実現すべく、建学の地である静岡市清水区三保の地に開校し、現在、幼稚園・小学校・中学校（中

等部)・高等学校・大学(海洋学部)・同大学院が一つのキャンパス内にある完全一貫教育システムの学園です。

コロナ禍での新しい生活様式が求められている中、今後さらにどのような教育を提供できるのか考えつつ、スケールメリットを最大限活用し、創立者が掲げた一貫教育に対する信念を継承するとともに、視野の広い、世界に目を向けることのできる人材、平和な社会づくりに貢献する逞しい人材の育成に邁進いたします。

学 校経営を 戦略的に 13

福岡海星女子学院附属小学校 校長 山田 耕 司

新春のお慶びを申し上げます。Withコロナの新しい学校生活を模索されます。公立学校も混迷を極める福岡都市圏で、私立小学校への就学評価をさらに得るための取り組みが続きます。

小規模校の本校は、学校経営全般を、建学の精神に因る教育の推進と健康・安全・環境等の危機管理の観点から常に捉え直し経営戦略を進め、それぞれの家庭の求める小学校教育を提供する工夫を重ね定員確保にも努めております。

コミュニケーション能力の醸成が小学校教育全教科等の基礎であることから、「主体的学び」の実践を「聴き合い活動」と「ポートフォリオ評価」で図る教育活動に取り組み四年目に入ります。令和三年度は、特に学院内の認定こども園・高校とのICTを活用した「交流」を中心テーマに実践します。

教育課題は、学習指導要領の求めるプログラミング教育やICTを活用した教育を本校の特色ある教育との関連化、融合化を図る実践です。このため授業研究・カリキュラム研究に外部講師を招いて取り組んでおります。

経営課題は、発達障がい懸念される児童の入学に伴い、「集団での学びを大切にしながら、個の成長を支援する個別学習」の推進です。本学院のモンテッソーリ教育の理念が後押しをします。

創立五十四年目の小さな一歩です。本年も宜しくご交誼ご指導の程お願い致します。

年 頭に思う

国府台女子学院小学部 学院長 平田 史郎

新年あけましておめでとうございます。とは申しまでも、素直におめでたいとは言えない心境は皆さんも同様と思います。

ここ千葉県でも一昨年は立て続けに台風の被害を受け、また昨年来のコロナ禍はいまだにその終息の見通しもたない状況にあります。今年こそはなんとか皆が安穩に暮らせる年になりますことを願ってやみません。

さて、かの一休宗純が、いざ一旦緩急有った時に限り開けよと断って弟子達に渡した遺言状を、後に進退窮まった弟子達が開封すると、そこには「大丈夫だ、心配するな、何と

かなる」の三言だけが記されていたと聞きます。

この一休さんらしい励ましの言葉を胸に、日々に精進したいと存じますので、本年も変わらぬご指導を賜れば幸いです。

合掌

明 るい未来に 向かって

アサンプション国際小学校 校長 丹澤 直己

新しい生活様式に慣れつつ、日常を取り戻そうと前に進み、新年を迎える事ができました。

皆さまにとって、今年は何年になりますこと、お祈り申し上げます。

私たちはこのコロナ禍の中、一番感じたのは「分かち合い心」ではないでしょうか。そして、言うまでもなく、「世界平和」ですね。

私たちは、今と未来を生きていきます。そこで求められるのは、一人一人の個性を大切に、多様性を受

け入れる寛容な心、「誠実・隣人愛・喜び」の想いやり心を持てる人間性です。そのような人間形成を私たちが自身が一緒に「明るい未来」へ向かって作り上げなければなりません。一人一人の神から与えられた「EYE」を大切に、生き生きとエネルギーギッシュに自分らしく共に歩んでいきましょう。“Protect your LIFE.”

新
しい学びへ

洗足学園小学校

校長 吉田 英也

新年おめでとうございます。本年もよろしく願っています。

昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大から全国の学校で休校措置が取られました。また、再開後も行事や校外学習等が十分できないなど、今まで経験したことのない学校生活になるというイレギュラーな一年でした。

休校期間中に、各校で急激にICT化が進みました。本校は数年前か

ら取り組みを始めていたため、比較的スムーズにオンラインでの学習や課外活動を進めることができました。そこからわかったことは、「児童主体の学び」という大きなうねりが来ていることです。児童自らが調べ、考え、発表し、議論するという学びの形です。新しい学校教育が目の前に来ていると感じています。新しい発想、考え方が求められる一年となりそうですが、それに対応できる学校でありたいと思います。

突
破する力

さとえ学園小学校

校長 小野田 正範

令和二年の年頭に、コロナ禍を誰が予測できたでしょうか。先行き不透明で予測不能とはまさにこのことかと実感したと思います。三月からの休校措置は、教育現場に戸惑いと混乱をもたらしました。学習の保障をどうするのか。児童生徒の健康状況の把握は。教職員の健康管理は。

様々な課題が露呈し、対応に追われる日々が続きました。本校では、一人一台の端末を活用してとにかく学習の継続と子どもたちの把握に力を注ぎました。年度末の区切りもままならず、新年度に向けた準備も手探りのまま令和二年度を迎えました。「変化への対応」と題した昨年の年頭所感でしたが、まさに劇的な変化に対応した一年でした。どのような状況にも適時適切に対応し難題を突破する組織力を高めていきたいと思うこの頃です。

平
和が来ますよう

聖ステパノ学園小学校

校長 小川 正夫

新年おめでとうございます。

二十一世紀元旦を迎えたのはついこの間のような気がしましたが、もう二十一年目、生まれたばかりの赤ちゃんが二十一歳、光陰矢のごとし、時間を大切にしようと思います。新年を迎えても新型コロナウイルス

ス感染症に罹患して辛い思いでいる人達、日夜医療看護に携わっている人達のことはいつも心から離れません。一日も早く収束の声を聴き、平和が来ますように祈っています。

和が来ますように祈っています。

今年こそ一九六四年に開催された東京オリンピックで受けた感動、若者の輝きを、小学生に見せてあげたいと願っています。

令
和三年 年頭に
寄せて


雲雀丘学園小学校

校長 成地 勉

令和三年、明けましておめでとうございます。


昨年は世界にとっても禍の年となつてしまいました。まだ、その禍は収束には程遠く、全世界、各方面でこれを克服するための取り組みが行われています。我々ができる予防法は限られていますが、それを確実に

に実行すれば相当程度のリスクは避けられる事もわかって来ています。その意味で辛牛（かのとうし）の年となる本年は牛歩のごとくゆっくりながらも、確実に前進する年でありたいと思います。新指導要領が施行され、やるべき事は山ほどありますし、リモート授業は当たり前になりました。しかし、ピンチはチャンスでもあります。この機に諸課題にどれだけ取り組めるかが今後一〇年の私学の命運を握るに違いありません。ともに前進して参りましょう。


**〇二二年への
新たな思い**
 晃華学園小学校
 校長 田島 亮 一

新しい年を迎え、コロナ禍ではありますが、新たな思いで始業式を迎えることができました。昨年からの感染症をどのように防ぎ、健康を維持するかについて、悩みながら進めてまいりました。特に、休校中、各家庭をどのようにサポートするの

か、高いハードルがありました。その中で、子供たちを支えたのは、先生方のチーム力でした。「晃華チャレンジ」という動画配信を始めたのは、休校中の子供たちの心を癒したという思いだけでした。また、オンライン授業も、チーム力があつたからこそ実現できたのでしょうか。先生方のONLINE TEAMの精神に感謝しています。今後も、コロナ感染症の波がやってくることでしょう。そのような状況でも教職員一同で子供たちを支えてまいります。今年もお力添えをよろしく願います。


新たな教育ビジョン
 浦和ルーテル学院小学校
 校長 福島 宏 政

謹んで新年のお慶びを申し上げます。旧年中は大変有り難うございました。従来からの「ギフト教育」を掲げ、少人数教育、十二年一貫教育、英語・国際教育、キリスト教教育の四つを

大切にしていまいます。同時にコロナ感染症に象徴される困難な時代を乗り越えていく人間を育てていく所存です。そのための新しい教育ビジョンに教師一丸となって取り組んでいます。


今後とも神さまから愛されていることを知り、人を思いやり、ギフト（才能・個性）を伸ばして世界に貢献する人間の育成に邁進してまいります。本年も変わらぬご指導ご鞭撻を、何卒よろしくお願い申し上げます。


**世界を広げる言葉を
学ぶ**
 暁星国際流山小学校
 校長 田川 茂

新春のお慶びを申し上げます。本校では、イマージョンプログラムによる英語教育、毎日一時間のフランス語教育、ICT教育を実施しています。母語以外の言葉を自由に使い、世界の人々と積極的に楽しくコミュニケーションがとれる能力と正しい知

識を培い、将来国際人として活躍できる人材の育成に力を注いでいます。また、英語検定、漢字検定、フランス語検定、プログラミングの授業など、日々努力を続ける子ども達に、建学の精神に基づいた、質の高い教育を提供できるように、教職員一同、一層の努力をして参りたいと思っています。

二〇二一年が、世界中の人々のもとに、平和と、豊かな生活が訪れますよう、一刻も早い新型コロナウィルスの終息を心から願ひ、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしく願ひ致します。


**明けてまして おめで
とつごびいます**
 城星学園小学校
 校長 奥 栄三郎

皆さま、明けましておめでとつごびいます。コロナ禍の中、新しい生活様式に慣れ、一人ひとりがどう生きていく

かを模索する時代となりました。医療に携わる方々を初め、すべての関係者の方に感謝申し上げます。私たちも、この状況を乗り越えていくべく、子どもたちと共に寄り添いながら日々努力を積み重ねているところでございます。

カトリックミッションスクールとしての存在意義を深め、聖書を中心に「心の教育」に努めてまいります。また、「学びの土台」に「かくこと」をどっしりとすえて、未来を生きる子どもたちに必要な力を伸ばしていきます。

そして、神様、ご両親からいただいた大切な心と体を最大限に駆使し、しっかりと地に足をつけた子どもたちを育てていきたいと考えております。

皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。



心を一つにして

捜真小学校

校長 新藤 啓二

「どんな願い事であれ、あなたがたのうち二人が地上で心一つにして求めるなら、わたしの天の父はそれをかなえてくださる。」(マタイによる福音書 一八・一九)

児童が楽しみにしていた「スポーツに親しむ会」(運動会)が中止になり、新しい取り組みとして二学期ずつの「スポーツ大会」を一〇月に開催しました。内容は二時間程度に短縮され、競技も限られたものだけでしたが、グラウンドでソーシャルディスタンスを保ちながらスポーツを楽しみました。

また、児童たちも教員たちも心待ちにしていたクラブ活動や委員会活動を一〇月から再開しました。どのクラブも委員会も新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながらの活動です。六年生の中から部長、委員長などが決まり、特別教育活動ならで

はの異学年交流が始まりました。リーダーシップを発揮し、後輩たちを指導する上級生の姿に頼もしさを感じております。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

年頭にあたって

帝塚山学院小学校

校長 神原 利浩

皆様あけましておめでとうございます。年頭にあたり、所感を申し述べさせていただきます。

昨年は、コロナ禍の中、子どもたちへの指導や学校運営に苦慮した時期が長く続いたことと存じます。学校行事も中止もしくは多くの制約を受けることとなりました。

一方、リモートや教材、学習課題の配信や受信による指導など在宅学習対応を進めるにあたり、新たな学習や指導の在り方も見出すことができました。今この時期を私学教育の

熟成期としてとらえ、日々の学校運営にあたってまいります。

地域を超えて多くの学校と連携を図りながら私立小学校教育にさらに磨きをかけてまいりたいと思えます。各校におかれましてもご支援、ご鞭撻いただければ幸いです。

コロナに負けない 合い言葉

千葉日本大学第一小学校

校長 寺山 光雄

新年明けましておめでとうございます。二〇二〇年は、オリンピック・パラリンピックの自国開催に胸をふくらませていましたが、年明けの頃から感染が拡大し始めた新型コロナウイルスの影響で東京五輪の翌年への延期が決まりました。気持ちが沈むことが多い昨年でしたが、本校児童は意気軒昂です。二学期の始業式で伝えた合い言葉を今も忘れずにいてくれます。「二学期もマスク手洗いディスタンス万が一にもいじめ無し」五音と七音でできた合い言葉

はよほど覚えやすかったのか、毎朝「おはようございます」の後にこの言葉を言ってくれます。本当に可愛い子供たちです。

生徒の夢は
学校の目標

江戸川学園取手小学校
校長 鈴木 木 克 己

新春のお慶びを申し上げます。

茨城県初の「小・中・高十二カ年の一貫教育校」として開校した本校は、七年目を迎えました。昨年は新型コロナウイルスの影響で、臨時休校や分散登校がありました。本校では、四月中旬には「オンライン授業」を開始し、学習支援を行いました。本年も、学びを止めないために、工夫しながら教育活動を行っています。本校は「心豊かなリーダー」の育成を目指し、心の教育とリーダーシップ教育を展開しています。「七つの習慣」をベースとする「リーダー・イン・ミー」のプログラムにより、自己リーダーシップを高めてい

ます。「生徒の夢は学校の目標」と掲げ、それぞれの夢の実現に向けて努力を重ねる子どもたちを、今年も学校を挙げて応援していきます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

善・良を行う子ども

東京三育小学校
校長 平 田 理

謹賀新年。未曾有の感染症拡大は、

これまでの学校生活を大きく変えました。しかし、その渦中にあっても三育教育を支える三つの柱は普遍です。個性を尊重しつつ、調和の取れた発達を促す「全体性」、知、霊、身を刺激し、社会的能力を全面的に伸ばす「開発性」、人生最大の喜びを他者への奉仕の中に見出す「奉仕性」です。それは、すべての個性に、その人生の中に、無限の可能性を見出し、希望の無いところにも、希望を見出す教育が必要だからです。如何なる変化の中でも、「良」識ある品性を保ち、他者を支え、幸福を分

かち合うために、「善」を行い続ける子どもを育むことが、希望ある未来を生み出すために必要な教育ではないでしょうか。「あなたがたは善を行うことにうみ疲れてはならない。」(聖書)

災
い転じて
学びとなる

日出学園小学校
校長 平 山 淳 子

新春のお慶びを申し上げます。

皆様におかれましては、この一年間、新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けて様々な取り組みをなされたことと存じます。本校では、二大イベントである運動会と学芸会を中止しました。特に六年生は最後の運動会、最後の〇〇という思い出に残るイベントをなくしてしまいました。ところが、二学期になって児童の有志が運動会の花形である鼓笛演奏をしようじゃないかと六年の全児童に呼びかけ、コロナ対策を含む練習計画を立て、教員にプレゼンテ

ションを行うなど児童主体の取り組みが見られました。何度も検討や話し合いを重ね、音楽専科と担任の協力を得て、感動ある鼓笛演奏を行うことができました。やりきったという満足感からか涙する児童が見られ、また、児童の思いを多くの保護者が受け止めてくれました。コロナ禍だからこそ強い思いを持ち、知恵を出し合った児童達は、今後、どんな環境に置かれてもたくましく生きていこうとする力を付けたことでしょう。新しい年はコロナの終息の年であることを願います。本年も、ご指導・ご支援をよろしくお願ひいたします。

明
るい未来を願う

追手門学院小学校
校長 井 上 恵 二

令和二年度は新学習指導要領が全面実施した節目の年です。新しい教科が始まり、主体的・対話的で深い学びを目標に、新しい形の授業が始まりました。私立小学校では今まで

多くの研究を重ね、しっかりと準備してきましたが、コロナ禍で華々しいスタートを切ることができず残念でなりません。しかし、Web授業や教材配信など、今までにない学習が一気に進みました。

コロナ禍でできなくなったことがたくさんあります。しかし、それを悔やみ、落ち込んでばかりいるのではなく、乗り越え、明るい未来を創っていくなくてはなりません。今こそ、教育の必要性と重要性を感じます。子どもたちには、明るい未来を創ることができ『確かな生きる力』を育んでいきたいと思えます。一日でも早いコロナ終息を願います。

利 他的精神」を礎に

四天王寺小学校

校長 花山吉徳

新春をお迎えし、謹んでお喜び申しあげますと共に、平素より本校に温かいご指導、ご支援をいただき心より感謝申しあげます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症により一〇〇年に一度と言われるパンデミックに見舞われ、本校の教育活動も全般に渡って多大な影響を受けました。感染者数の増減に一喜一憂するのではなく、二次・三次と感染拡大の波を招いた現実、私たちが一人ひとりの心内に向けられた、人としてのあり方そのものへの問いかけであるという認識の下、本年も太子様の教えである「利他的精神」を礎とした教育を進めていく所存です。皆々様には、本年も倍旧のご指導ご支援を賜りますようお願い申しあげます。

わ たしプラン

東洋英和女学院小学校

校長 山本香織

今年度の教科教育研究目標を、「誰もがユニークなわたし」と定めていました。とっぴであるなどとマイナスイメージを持たれやすいですが、本来は「唯一」ということであ

り、宝物である各自の「ユニーク」を最大限生かす教育をしたかったのです。

そこに休校による新年度の始まり、という事態が起きました。しかしこれは逆に一人ひとりに固有の間がたっぷり与えられるということ、一定の時間割により一斉に進められる授業より、「誰もがユニークなわたし」が進められるかもしれせん。そこで四月初より、子どもたちに「わたしプラン」を定めさせ、取り組んでもらいました。

「なわとびの達人になる」、「日本地図博士になる」、「将棋の棋力をあげる」、「お家のシェフになる」などなど。素敵な「ユニーク」がいっぱい育ちました。



笑 顔の多い一年に

神戸海星女子学院小学校

校長 鈴木良孝

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、春先に始まった新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延が収束せず、学校は、休校が長引いた上に、授業再開後も「新しい学校生活様式」の中で、特に学校諸行事においては制約を抱えての実施となりました。我々教師も、気遣いの多い不安を抱えての生活となりましたが、そんな中、やはり勇気づけられたのは、子ども達の元気な声と笑顔でした。

今年、「ウィズコロナ」でのスタートとなりますが、児童の安心・安全を第一に考えた上で、昨年の経験を活かした教育活動を実施し、昨年以上の子ども達の笑顔を見たいと思っております。本年もどうぞよろしく申し上げます。

学びを止めない

湘南学園小学校

校長 岸田修成

新年のお慶びを申し上げます。

新型コロナウイルスによる休校は、学校の在り方そのものを考えさせられました。遠隔学習から見えてきた学力保障の問題。希薄になっていく人間関係の問題。目の前にいない子どもたちに、つながることの大切さを伝えるのは大変なことでした。

学校再開後は、子どもたちの居場所づくりを最優先に考え取り組んできました。コロナを理由に禁止にするのは簡単です。湘南学園小学校は、「子どもたちの学びを止めない」を念頭に置き、奈良・京都への修学旅行をはじめ、ほとんどの学校行事を実施しました。

これからしばらくは、制限ある中で教育活動になるかと思いますが、教職員一同未来ある子どもたちのために進んでいきたいと思えます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

上げます。

穏

やかな一年で
ありますように

鎌倉女子大学初等部

校長 勝木茂

あけましておめでとうございませう。

昨年はコロナ禍の影響で、臨時休業をはじめとする様々な対応をせざるを得ない状況となり、本校においても学校経営そのものをこれまでとは根本的に違う考え方で取り組むこととなった一年となりました。

まだまだ感染症対策の徹底が不可欠な状況が続くと思われませんが、願わくは、コロナに打ち勝ち、穏やかな生活が戻って来る一年になってほしいものです。

さて、鎌倉女子大学は二〇二三年、創立八〇周年を迎えます。初等部は、一九五一年の開校以来、「感謝と奉仕に生きる人づくり」を建学の精神とし、皆様の信頼に応えるべく地道な教育活動を続けてまいりました。

新年度には、中・高等部の新校舎が開設され、初等部も幼稚部と同時にリニューアルし、教育環境も拡大することとなります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

しなやかに

立教女学院小学校

校長 佐野新生

会話を交わす、小さく集まる、一緒に歌う、一緒に食べる…こういうことに制約がかかるうとは思ってもみませんでした。子どもたちの学びを守ろうと頑張り続けた教職員、専門家としての指導助言でお支え下さったお医者様、そして全ての保護者の皆様のご理解ご協力に心から感謝しています。

新たな年にも子どもたちには学校生活をたっぷり楽しんでもらいたい、学びをしっかりと支えていく学校でありたいと願っています。オンライン授業配信もさらに効果的に用い

ていきたいです。

レジリエンス (resilience) が重要だ、と言われるようになりました。復元力、弾力、弾性といった意味ですが、逆境や困難に押しつぶされることなくしなやかに外的環境に順応していく適応力、という意味でも使われます。意識しながら過ごしたいと考えています。

今

こそ、**実感**を
伴った学びを!

和光小学校

校長 北山ひと美

昨年は突然学校生活を奪われた子どもたちに、何とか実感のある学びを続けさせるために学校ができることは何かと手探りの日々でした。ネット環境の調査をした上で、「家庭学習資料サイト」に教員たちが手作りの動画、教材をアップし、五月にはオンライン朝の会も行いました。オンライン上とはいえ久しぶりにクラスの仲間と出会った時の子どもたちのうれしそうな顔！十月に

延期した運動会はいつものように縦割りでの活動となり、十一月末には「いちようまつり」で各学年とも思切りの民舞を踊りました。六年生の沖縄学習旅行では今年も沖縄戦の証言者の方から直接お話を聞くことができました。現地を見て、聞いて、肌で感じるのが子どもたちの学びを深めていくことを今年も目の当たりにしました。今こそ、実感を伴った学びを、感染対策を万全にした上で進めていきたいと思えます。

コ コロナ禍に思う

ノートルダム清心女子大学附属小学校
校長 西 弘子

皆様、明けましておめでとうございませう。収束の見通しが立たないコロナ禍の中、不安の多い新年を迎えられたこと存じます。様々な不安要素が重なる今の世の中で、何に注力して私学運営を進めれば良いのか、わが校も試行錯誤の毎日が続いております。

私たち私学には、年代にかかわらず素晴らしい児童が集っています。私たちが考えもつかない発想力や行動力を持った無限の可能性を秘めた児童たちです。

そんな児童の未来のために、私たちは何ができるのか。不安な今だからこそ、初心に立ち返らなければいけないと考えています。そして皆で力を合わせ、ともに考えながら歩んで行く、そういう一年にしたいと思えます。

コ コロナなどに負けず牛のようにたくましく

菅生学園初等学校
校長 下平 孝富

明けましておめでとうございませう。コロナウイルスの流行がおさまらない中ですが、新年を迎えました。みなさまにおかれましては、どのようなお気持ちで新年をお迎えでしょうか。昨年はコロナウイルスのいきなりの流行のため、みなさま方もご対応

に大変苦慮されたことと存じます。本校でも、教職員一丸となってできる事柄を検証しつつ、手探りで対応ながら、児童たちとの絆をつなぎ続けてまいりました。早く、ワクチンが遍く行き渡り、平穏な日常と通常の学校運営ができる日を待ち望んでいます。丑年である今年は、何事にも動ぜず、闘牛士に立ち向かう牛のように臨みたいと思います。今後ともみなさまにはご指導をいただきながら精進してまいります。今年もよろしくお願い申し上げます。

新 しい年を迎えて

新渡戸文化小学校
校長 杉本 竜之

新春のお慶びを申し上げます。本校の最上位目標は「HAPPINESS CREATOR」です。「SHAPPINESS CREATOR」とは、自分の幸せだけでなく、周りの人の幸せもつくりだせる人になる、ということ。VUCAの時代といわれるこれか

らの時代を生きていくためには、与えられた課題や指示されたことをこなすような課題解決力ではなく、自分で周りをよく観て、課題を発見し、自分で問いをたてて解決していく力が必要です。そのためには「自律型学習者」となって学び続けることが最重要だと考えます。

今年も、本校の伝統であります「どの子も我が子」の精神をもって、子どもたちが自分のよさをみつけ、伸ばしていくこと、そして、自律型学習者として学び続けることを全力で支援し、伴走してまいります。本年もどうぞよろしく願いいたします。

一 人ひとりの、幸せな子ども時代のために

桐朋小学校
校長 中村 博

コロナの時代であっても、一人ひとりが現在を充実させて生きる、その人らしく生きるために取り組みます。その子その子が、かけがえのな

い存在です。一人ひとりを主人公とした学校でありたいと願い、『子どもを原点にした教育の実現』『社会の創り手となりゆくための根っこを育てること』を教育目標とします。学園の教育理念は、一九四七年制定教育基本法（深く関わった務台理作氏が初代理事長、校長）の精神「一人ひとりの人格を尊重し、自主性を養い、個性を伸長するという、ヒューマニズムに立つ『人間教育』」です。この精神と教育目標の実現に向け、実践をすすめます。学園、学校を人間が育ち合う場に、一人ひとりを大切にすることを創造します。

ア
ンテナを高くして

福山暁の星小学校
校長 児玉 ゆかり

昨年は、全世界を巻き込んだコロナ禍による休校を経て、学校で友達や先生と同じ空間で学ぶことの重要性を再認識する年となりました。学校に毎日行くなど、これまで当たり

前と想っていたことの有り難さを実感し、聖書の教え「喜びを見出す・感謝する・祈る」を心の支えとして、新たな形を模索し続けてきました。宿泊学習や体育祭等、子どもの成長に欠かせない行事を、縮小した形でしたが実施できたことは大きな喜びです。

創立以来の本校の教職員の使命は「常にアンテナを高くして今の時代を生きる力を子どもたちにつける」ことです。予測不能な時代をたくましく生き抜く力をつけることを目指し、本年も、児童の主體的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に全力で取り組んで参ります。

I
CT教育を

常葉大学教育学部附属橘小学校
校長 勝保 元雅

新学習指導要領になり張り切っていました。新型コロナウイルス感染症のため大変なことになってしまいました。

長い休校でも子供たちの学力を保障するため、本校ではオンライン授業を初めて行いました。教員はいかに通常の授業のように分かりやすいものにするか工夫を重ねていきました。一方、小学校初めての授業がオンラインであり、端末を使うことになった一年生は、当然操作ができず、保護者と共にということになりました。暗中模索のように始まったオンライン授業ですが、学校も家庭もICT教育のよさを実感しました。

まだまだ、コロナ禍でありますので、感染予防対策を万全にしながら今年も、通常の授業の中で端末を効果的に利用したICT教育に力を入れていきたいと思えます。

三
育教育と隠れた
カリキュラム

広島三育学院大和小学校
校長 田淵 裕

新年を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの影響

響でカリキュラムを考え直す中、本来に必要なものは何かについて考え、精査してきた一年でした。

四月から臨時休校となり、児童は毎日出される課題学習に取り組みました。後日感想を聞いてみると「頑張ったその日の課題を終わらせれば遊べるので楽しかった。」というのです。教師からすると不十分なサポートで申し訳ないという気持ちでしたが、児童の意外な感想に驚かされました。また、授業が再開されると、例年に比べて学習の姿勢が身についており、児童一人一人の成長を感じました。これからも神様の守りと導きを祈りつつ「三育教育」に取り組んでまいります。

本年もご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



新年を迎えて

横浜三育小学校
校長 落合 均

新型コロナウイルスの影響が拡大し続けております。心よりお見舞い申し上げますとともに謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスの影響で、児童たちはさまざまな制約の中で学習に取り組んできました。休校中、オンライン授業を行いました。画面上で見る児童の表情や仕草では、何を考えているのか、理解しているのかはきちんと把握できませんでした。顔と顔を合わせて、直接言葉を交わし、コミュニケーションをとることがいかに重要なことであるかを、今回のことで改めて感じました。

新しい生活様式の中で、本校の教育理念である、「キリスト教教育を土台として、神と人に仕える児童を育成する」ことを心に留めて、他者の必要を考えることのできる児童の

育成に努めてまいりたいと思えます。

どこから世界を見てみるか

清泉小学校
校長 大西 貞 弘

グローバル化が世界的潮流となつた今、私たちの目に映る世界はどのようなものでしょうか。発達したテクノロジーとそれを享受する明るいニュースかもしれないと、逆に一部の人々が握る富と差別された人々のギャップかもしれません。あるいはまた、イデオロギーの違いや宗教対立から犠牲になる人々の暮らしたたり、トレードオフの複合的状态に悩む自分自身の表情かもしれません。味気ないデータであふれる毎日の中で、本当に大切にしたいのは、困難な中にある人々の目に何が映っているのかを感じ取る感性だと感じます。苦しみの中にある人々を、私たちの社会の真ん中に置いて、その人の視点でものを見る「心のつながり」の教育を実現していくことが、コロナ禍だからこそ、今、地球市民として求められているのではないかと思います。

あたらしい

賢明学院小学校
校長 中 原 道 夫

新しい学年・新しい教科書・新しい服と「新」が付けば、勇気と希望が湧いてきます。新にはそういう不思議な力が秘められている気がします。新指導要領もそうです。教育方法や技術など今までを改めて、新たな意欲が私たちに満ち溢れます。年の初めに「あたらしい」は否定ではなく、始まりと捉えることが大切だと自身に命じています。

一方、コロナ対策の「新生活様式」として、学校生活を根本から見直し、新しい授業の形態を作り上げたいと計画しています。

児童は、本来の姿と異なった一年の生活でした。マスクをして距離を

とつての学習スタイルは違和感があります。子どもたちは順応し始めています。優れた能力の一つではないでしょうか。この素晴らしい能力を信じて、新学校生活様式を全うしたいものです。

年頭所感

智辯学園奈良カレッジ小学部
校長 山 本 博 正

新春のお慶びを申し上げます。令和二年度は、コロナ禍により教育現場が翻弄される年になりました。新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない今、感染予防対策は今後もしっかりと継続する必要があります。

一方、WITHコロナであろうと、児童の学びを止めることはできません。とくに、小学校教育において、対面授業が大切なことはもちろんですが、主体的・対話的で深い学びを実現するためには、相互の学び合いの場を提供することが大切であると

考えます。

本年は、ICTやオンラインも積極的に活用しながら、創意工夫を凝らして、コロナに負けない教育や児童の学びのあり方を模索してまいります。

併せて、今後もぶれることなく、建学の理念に根ざし、「感謝の心」「相互礼拝・相互扶助の精神」及び「真」「善」「美」「聖」の高邁な価値を身につけた人間の育成に努めてまいります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

創立七〇周年を迎えて

トキワ松学園小学校

校長 栗林 明弘

コロナをきっかけとしての社会、経済、そして教育の変化に驚き、校長としてイニシアチブをとることの重要性をとみに感じている。

二十一世紀型の教育、STEM教育とかPBLなど世界で行われている

るような教育も視野に入れながら、世界で活躍できるような「人材」をつくる教育の根底として、より人間らしく生きる心の教育をと思う。広い視野をもって、子供達にはSDGsの意識をもった「地球市民」にもなってもらいたい。

本校は今年、創立七〇周年を迎える。改めて、日本私立小学校連合会「二〇二〇年代の教育宣言」(令和二年六月十二日)を読み返して、そう思うのである。

建学の理念を大事に

淑徳小学校

校長 松本 太

謹んで、新年のお喜びを申し上げます。本年が、皆様にとって幸多き年となりますよう、お祈り申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響で長期の休校を余儀なくされ、学校の在り方が問われた一年でした。オンライン授業が模索される一方、人

と人との直接的なかかわりの中で営まれる教育の意義も見直されています。

技術や知識の獲得には、ICTを活用した教育に大きな利点があります。自ら進んで追求する学習者にとってこれほど便利なものはないでしょう。

しかし、私学が建学の理念を掲げ人格の陶冶を目指すとき、遠隔授業だけでは補えない部分があります。ICTを活用した教育を進めながら、共に学びあう学校生活の中で、建学の理念を児童一人一人の中にいかに育んでいくのかを追求する一年にしたいと考えています。

新しい年を迎えて

須磨浦小学校

校長 岩 渕 正文

明けましておめでとございます。

須磨浦小学校は一九〇二年(明治三十五年)に開校し、兵庫県で最も歴史のある私立小学校として百十九

年目を迎えます。

そこで子どもたちには、基礎基本の徹底と、単なる知識だけにとどまらず、主体的・対話的で深い学びができるような環境づくりを目指してまいります。さらにiPadの活用を充実させ、プログラミング的思考を育てていくための研究と環境作りを積極的に進めてまいります。

アナログの部分とデジタル化された部分を織り交ぜながら建学の精神の、「たくましい体、思いやりと誇り、伸びやかな知性を育てる」という原点に立ち返り、人間教育を行ってまいります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

魅力ある学校の創造

国立音楽大学附属小学校

校長 千木良 康志

日本で唯一の音楽大学の附属小学校という持ち味を発揮し、優れた音楽環境を生かした創造的な活動、体

験を重視した教育活動に取り組んでいます。また、未来を見据え一人ひとりの感動を呼び起こし感性を育むような教育にも力を入れて実践しております。どんな世の中が変わり社会が変化したとしても、よりよく生きたいという子どもたちの願いは変わりません。そして、その願いを実現するのが学校であり教育の力です。私は校長として、この国立音楽大学附属小学校が、子どもたちの夢や願いを実現する場、その基礎を築く場となるよう本年も努力してまいります。

人は人によって

安田小学校

校長 新田 哲之

あけましておめでとつございます。安田学園は、二〇二一年に創立一〇六周年を迎えます。時代は移り変わろうとも建学の精神「柔しく剛く」が、一〇〇年以上続いてきたことが喜びです。

昨年は休校が続き、オンライン授業や授業動画の配信で学校での授業を補いましたが、学校教育の営みの重さを感じた一年でした。休校が明けた日は、教師や仲間と会える喜びで輝く子どもの姿がありました。人は人によって生かされ、人によって人となれることを心に留めて今年をスタートさせます。

子どもと共に学ぶ
気持ち

国立学園小学校

校長 佐藤 純一

コロナ禍の学校は、今までの学校生活や行事のあり方を見直すいい機会になった。私立学校は、おそらく独自の判断で、工夫して出来ることを模索し、実行したはずだ。まさに私立学校の力を発揮出来たにちがいない。私たちは、毎日子どもと共に教室で勉強している。最近、やたらと「勉強の意欲が大事」と言われるが、そんなことを子どもに説明したとして

も、それで意欲が出るというわけではない。心底やっていて面白いと感じなければ駄目である。子どもも、先生も、共に元気の出る勉強。これを模索し、工夫していきたいと思う。

希望を持って

清明学園初等学校

校長 横山 豊治

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。さて、昨年の年明けに、まさかあのような一年になると誰が想像したでしょうか。そして、この年明けも未だに先の見えない不安な始まりとなってしまう。ただただ、私たちが願うのは、子どもたちの安全と学びの保障です。いずれ、コロナは終息を迎えます。その時に、どのように教育が改善されたかを証明しなければなりません。未曾有の出来事に、誰もが不安を

感謝

久慈川三育小学校

校長 松坂 世施富

国内で新型コロナウイルスの感染者が報告されてから一年が経とうとしている。未だに終息の気配がないことに大きな不安を感じる。しかし、そのような中で、子どもたちが、明るい笑顔で元気に学校生活を楽しんでいることは幸いなことである。先行きの見えない中、私は子どもたちと同じように明るい笑顔で日々を過ごすことができているだろうか。聖書は、「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい」と勧めている。

抱いていますが、常に明るい希望を持って前向きに進んでいきたいと思えます。子どもたちが何よりも前向きにこの時代を生きていることを肌で感じています。本年も皆様にとってよい年となりますよう、お祈り申し上げます。

いつも喜んでばかりはいられない、いつも感謝できることばかりではないかもしれないが、たとえ作り笑いでも、明日、明後日と続けていけば本物になる、と言われている。コロナ禍の中にあっても感謝の心を忘れず、笑顔でいられる一年でありたい。

**年
頭所感**

恵明学園小学校
校長 二宮 正隆

新年明けまして、おめでとございます。いつもの年なら、心新たに新年を迎え、今年一年の目標や抱負を持ってスタートを切るのですが、今年はとにかくコロナの終息を願ってやみません。恵明学園小は、お陰様で一人の感染者も出さずに過ごしてきました。今後もコロナ対策を弛緩なく実行し、学校教育を推進していきます。本校は、児童養護施設の中の小学校ですので、学習の遅れや学力の向

上、基本的な生活習慣を身に付けること等を目指し、個をよく把握し、個に応じた個別指導に力を注ぎました。今年も変わらず個の能力や行動、心を育んでいく所存です。人々に、健康で充実した暮らしが戻ってくることを切に祈ります。

**三
つの目**

桜の聖母学院小学校
校長 武藤 浩之

「想定外」という言葉が巷間に溢れていたのは、十一年前のことでした。東日本大震災です。今回は「想定内」のことも含まれていました。コロナ禍です。ところで三年前のことです。夏季休業中の校内研修の際、指導助言者による講話の内容で、特に記憶に残ったことがあります。「三つの目」です。高い位置から広い範囲を見おろす鳥の目。接近して様々な角度から物事を捉える虫の目。諸事象を社会状

況の流れの中で捉える魚の目。これらをもって「三つの目」になります。要は教育現場でも、複合的な視点が必要不可欠である、ということだと思います。コロナ禍により、経験知のない判断と選択を迫られることが、今後もしばらく続くでしょう。「想定外」であれ、「想定内」であれ、教育活動を停止するわけにはまいりません。子ども達の学びも継続させなければなりません。「三つの目」の質を更に高めていくことが求められそうです。

**新
しい年を迎えて**

奈良学園小学校
校長 梅田 真寿美

あけましておめでとございます。超スマート社会を前に大きな教育変革に向かうべく進めていた歩みの背中をさらに押された、教育に携わる私たちが経験したことのない一年が過ぎました。まだ、トンネルの出口は見えませんが、間違いないのは、

ポストコロナ時代になっても、過去の学校の姿に戻すわけにはいかないということです。新型コロナウイルスへの対応を通して、これまで見えなかった学校の様々な課題が明らかになってきています。私たちは、私学として、これらに向かう取り組みを先導し、新しい時代の新しい学校の姿を描き、発信していく使命も課されていると考えます。

**新
しい日常**

目黒星美学園小学校
校長 小島 理恵

新春のお慶びを申し上げます。新型コロナウイルスが猛威を振るっている今、感染者最多更新のニュースが流れる度に、一体いつになったら収束に向かうのかと心が痛む毎日です。

見通しのつかない未来に向け、さらに充実した教育の展開に向けて、粘り強く歩み続けてまいります。

十一月のある日、宗教の授業後に一人の子どもが思いをノートに書きました。

「神さまはわたしたちを一生見捨てない。一生そばにいてくださる。そういうお方なんだな。」命について考えた後の感想です。ともすると、私たちは自分の力のできる、乗り越えられる、と得意満面になることがあります。子どもは、ささげられました。

「いつも子どもと共に」いることをモットーとしている本校の教職員も、人間を超える存在への信頼をもって日々の教育活動を展開してまいると思います。本年も、どうぞよろしくお願いいたします。

つ
ながる

福岡雙葉小学校
校長 中村和子

私たちの日常は瞬時に変わってしまふということを感じた令和二年でした。初めての体験は誰もが、当

感します。しかし、この体験をより良い方向に向けようと人は動き出します。

この数カ月、教員は学びの本質と格闘しながら、一方で学校が学校として果たす役割とは何かを自問自答してきました。子どもたちがいるいつもの学校生活とは異なる状況になって、一層「つながる」ことの難しさに気づかされました。ICTの活用によって「物」と「人」はつながることが出来ます。でも「心」と「心」をつなぐには、「相手」を意識しなければならぬのです。そして、相手からの反応がなければできないのです。

令和三年、自ら「つながる」ために行動する学校をめざします。本年もよろしくお願いいたします。



年
頭のご挨拶

成蹊小学校
校長 倉内祐子

新春のお慶びを申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響が甚大なため、年頭のご挨拶を申し上げることに違和感を感じておられる方も多いかと存じます。三月からの臨時休校から、どの学校も対応に苦慮なさり、そのご苦労は今も続いていると拝察いたします。本校でも大学等あらゆる施設や物品を動員して、ご家庭の献身的な協力も得、出来得る最大限の教育を模索してまいりました。このような時であるからこそ、私立学校も連帯し共に高めあうことが肝要となると思います。オンラインでの研修会の実施は本当に素晴らしいありがたいことと感謝しております。

この一年も激動の時となるでしょうが、変わらぬご指導ご鞭撻の程どうぞよろしくお願いいたします。

飛
躍

聖ヨゼフ学園小学校
校長 荒屋勝寿

新年おめでとうございます。

一年前、今の事態を誰も予測していませんでした。私たちは、たった一つのことでも、日本のみならず世界中が危険と不安に陥ることを知りました。このような状況の中で、児童の健康と安全、命を守るという教員の意識はこれまで以上に高まりました。新しい年も、児童を真ん中に、学校と家庭とが車の両輪として、未来に生きる児童の健やかな育みを進めてまいります。

二〇二一年、校訓である「信望愛」の精神に基づく「心の教育」で人間力を、国際バカロレア初等教育プログラムに基づく「学び（探究）」で未来を切り拓き生き抜く力を育み、学園の基本精神である『この世の様々な問題を他人事にせず、自らの課題として積極的に捉え、人々の真の平和と幸福を創り出す人を育て

『教育を実践してまいります。時代を超えて脈々と流れる学園の基本精神を軸に、愛が満ち溢れる学園で、「地の塩、世の光」として、よりよい社会を築くために活躍する子どもたちを育みます。二〇二一年度、聖ヨゼフ学園小学校の飛躍にご期待ください。

年頭所感

一燈園小学校

校長 村田 俊喜

新年あけましておめでとうございます。本年も宜しく願いいたします。

新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、二〇二二年が始まりました。欧米では総力を結集して新型コロナウイルスのワクチンが開発され、早速ワクチン接種が始まりました。抽速との批判はありますが、これが感染症の収束へと繋がることを願います。本校でも子どもたちの元気な姿が

何よりの救いとなっており。十分な感染症対策を講じた上で、本校の特色である生活の中での祈り、体験を通じた気づき、基礎を大切にした学習を一段と進めてまいります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

最後になりましたが、皆様の益々のご繁栄・ご発展をお祈り申し上げます。

『教育改革のやめ方』

東星学園小学校

校長 大矢 正則

昨年読んだ本（『教育改革のやめ方』岩波書店）の中の、教育学者の広田照幸氏と朝日新聞の氏岡真由美氏の対談から。氏岡氏「プログラミング教育で、論理的に考える「プログラミング的思考をつけよう」というのですが（後略）／広田氏「いや、これ、何でもかんでも入ったんでしょね。教育学的に言うとな、無理があると感じます。素材自体がメタ

的なものであり、それを通してメタ的な能力を身につけさせるという話なので、小学生とかには非常に難しいでしょう（後略）」。この本の前書きで広田氏はこうも言います。「おかしな改革論は現実化しない方がいい。『変な改革はやらない』という選択を」と。私たち私学人は、変な改革に振り回されずに、建学の精神に基づいてやってきたことを今年もしっかりとやり続けたいものです。

**コロナ感染拡大に
思うこと**

関西創価小学校

校長 松井 義明

本年度は、コロナウイルス感染拡大によって、学校が臨時休校となり、再開後も、感染対策をしながらの新たな日常生活が始まりました。改めて、学校で友達と楽しく学べることに感謝し、一日一日を充実したものにしていこうと、学びの姿勢を見直す良い機会になりました。我慢することやできないことも増

えて、不安や苦勞もありましたが、受け身の行動ではなく、主体的な取り組みが、他者への思いやりを深め、平和を願う心へと繋がっていきます。人間は試練に立ち向かうことよって、自分の中にある可能性を發揮していくことができることを実感できます。これからも、人の絆を大切に、希望への前進のエンジンとしたいと思ひます。

新年のご挨拶

英数学館小学校

校長 永留 聡

謹賀新年申し上げます。新型コロナウイルスの拡大感染により、昨年は大変な一年になりました。

しかしながら、日本人の自己を律する力、他人に迷惑をかけないようという国民性が顕著に現れたのではないかと思っています。児童たちは制限がある中でも、一生懸命に学校生活を楽しんでくれているようです。早くコロナウイルスが収束する

事を心より祈念しております。英数
学館小学校では児童一人ひとりの天
分を最大限に活かす教育を心掛けて
おります。

英語イマージョン教育、国際パカ
ロレア初等教育プログラムを実践し
真の国際人材の育成を目指して行き
ます。これからの正解のない時代を
生きていく力を様々な教育プログラ
ムで身につけてもらうように教職員一
同精進して参りたいと思います。今
年一年が皆様にとって素晴らしい一
年になりますように祈念いたします。

今
だからこそ
『つながる』

聖徳大学附属小学校
校長 三 須 吉 隆

明けましておめでとうございま
す。皆様とともに、新たな年を迎え
られますことを、心より感謝申し上
げます。
本年は、建学の精神「和」のもと、
ぶれず揺るがない価値観で続けてき
た教育実践に、今だからこそ、人と

人との『つながり』を重視した視点
で見直しをかけ、「できること」を
新たに生み出す、「本校の独自性に
磨きをかける一年」とし、前進して
まいります。

一人ひとりが、かけがえのない自
分の可能性を發揮し輝けるよう、知
的向上にとどまらず人間としての成
長を目指し導いてまいります。子ど
もの豊かに伸びる姿こそが学校の宝
です。

教職員一同知恵を出し合い、自ら
の力で未来を切り開く高い叡智と心
豊かな人間性を備えた、新たな時代
に羽ばたく子どもたちの育成に邁進
してまいります。

知
恵を絞り、工夫を
重ねて

聖学院小学校
校長 佐 藤 慎

今年度、児童が通学を始めたのは
六月二十二日でした。登校してきた
子ども達と接して改めて強く感じた
ことは、子どもにとっては実際に友

だちや教師と顔を合わせ、一緒に学
び、生活することが、良き成長のた
めには不可欠であるということであ
ります。

今年も新型コロナウイルスとの戦
いは続くと思います。子ども達の命
を守ることは何よりも優先しなけれ
ばならないことです。感染対策を怠
ることはできません。けれどもその
ような中にあっても知恵を絞り、工
夫を重ねて、友だちや教師と顔を合
わせ、一緒に活動するからこそでき
る学びを教育活動の中心に据えたい
と思います。

東
雲を望みて

青山学院横浜英和小学校
校長 磯 貝 曉 成

新型コロナ禍の長いトンネルの中
を行く私たち、そのトンネルの長さ
は誰にも分らないでいます。感染防
止のため教育現場も一気にオンライ
ン化が展開していきました。その中
でリモート教育の課題も起こってき

ています。教師・保護者それぞれは、
人と人が出会って初めて生まれて
くる感情や意識の交流がいかに大切
であるかを実感したのでした。今後
はハイブリッド型の教育がニュー
ノーマルとして一層模索されていく
ことでしょう。パンデミックを切っ
掛けに、次の世代への新しい教育の
あり方を、各校の立ち位置で根本的
に考え直す時代を迎えたのでした。

本学院は、「心を清め 人に仕え
よ」のスクールモットーの下に、幼
稚園から小学校・中学高等学校に至
る十五年教育のシステムと教育内容
を根本から考え直していく二〇二一
年を迎えることとなりました。謹賀
新年

高
知学園のSDGs
取組宣言

高知小学校
校長 友 村 憲 朗

謹んで初春のご挨拶を申し上げます。
本学園は、「至誠一貫」「世界の平

和と友愛」を建学の精神とし、幼稚園・小学校・中学校・高等学校・短期大学・専門職大学・大学を擁する総合学園です。

昨年一二月に持続可能な社会の実現に向けて、全学園をあげてSDGsへの取り組みを積極的に推進しようと宣言しました。小学校では、ESD（持続可能な開発のための教育）の実践として教科等で探求学習に取り組んでいます。

今年、タブレット端末が全学年に導入されます。これまでの実践をベースにICTを活用したさらなる授業改善に努めるとともに、総合学園ならではの学園内連携を一層深めていきたいと考えています。

新型コロナウイルスの終息を願いながら、日々の授業を大切に、子どもたちとともに歩む安全で楽しい学校づくりに邁進する所存です。



新しい年に向かって

東京農業大学稲花小学校

校長 夏秋啓子

新春のお慶びを申し上げます。

一昨年の春、東京都世田谷区に開校した本校。七十二名の新入生と、小さな船出をして一年と経たないうちに、コロナ禍という前代未聞の荒波に揉まれることとなりました。休校期間を経て、六月に学校を再開しましたが、今なお、校内の感染予防に気を張りつめる日々が続いています。

その一方で、「オンラインコミュニケーション」が急速に普及しました。本校でも、休校中の授業配信に始まり、再開後は授業参観、保護者面談、学校説明会、入試における事前面接と、多方面で活躍し、長い付き合いを予感させてくれます。

今年はどうなるのでしょうか。春には三期生を迎え、やっと教室の半分が埋まります。教職員一同、オーラを漕ぐ手の力を緩めることな

く、邁進していきたいと思えます。

型から入って型から出でよ

聖セシリア小学校

校長 服部啓明

亡き中村勘三郎さんの座右の銘は、小学生の時にラジオで聞いた「型がある人間が型を破ると『型破り』、型がない人間が型を破ったら『形無し』ですよ」という無着成恭さんの言葉だったとのこと。なるほど勘三郎さんの新作歌舞伎などの「型破り」な活躍は鍛え抜かれた「型」があったからこそ成しえた偉業だったのでした。

子どもは学びを通して、読み書きの型、計算の型、運動の型、ものづくりの型などを身に付けていきます。このため教師はしっかりとした型を伝える力を持っている必要があります。コロナ禍にあって、オンライン授業などによる教育力も向上させたいところです。

「型から入って、型から出でよ」

といえます。子どもたちにはいずれ「型」から出て、自由に羽ばたいていってほしいのです。

論語を読んで元気アツアツ!

就実小学校

校長 山部英之

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

本校では、全児童が毎日論語を声に出して読んでいます。「先ず行う」「温故知新」「思い邪無し」等、短い句を選んで毎週の放送朝礼で紹介し、毎日三回素読する取組を進めています。

論語は学校教育目標の根幹であり、一人一人が「目指す児童像」を具体的にイメージすることができ、よりよい成長につながると考えております。

「二年生になって、ろんごがよめてうれいす。」「ろんごをよむと気もちよくなります。たのしいです。」「このような声を励みに、今年

も続けていきたいと考えております。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

新しい年を迎えて

ノートルダム学院小学校

校長 原山 稔郎

新年あけましておめでとうござい
ます

「新しい生活様式」での学校生活が始まり、感染対策を行いながら日々の教育活動を行っています。健康観察や消毒の徹底、密を避けた授業、多くの行事の変更等々、学校生活も大きく様変わりしました。日本カトリック司教協議会認可の「新型コロナウイルス感染症に苦しむ世界のための祈り」を唱える毎日です。これまでの日常生活が、当たり前ではないことを痛感し、感謝の思いがあふれます。様々な事が制限されている中、何ができるかを模索する日々です。一日も早く感染症が収束して、マスクをとって子どもたちと

笑顔で会話を楽しめる日が来ますようにと祈りつつ、試練の日々を共に過ごしたいと思ひます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

陽のあたる場所

奈良育英小学校

校長 東 誠司

朝の立哨指導時、この季節になると寒さゆえに自ずと陽のあたる場所を探しています。

「夏は暑さを凌ぐため陽射しを避けていたのに勝手なものだ」と独り言つ。人は何かにつけて陽のあたる場所を求めて生きてゆこうとします。しかしながら「光と陰」が私たちのごく身近な存在であることも事実です。今、私たちはその陰の世界で一筋の光を求めて日々を暮らしています。そしてやがて訪れるであろう、「その後」の世界に大いなる期待を抱き、歩んでゆきたいものです。今年もよろしくお願ひ致します。

コロナ禍に思う

精華小学校

校長 大野 達夫

新年明けましておめでとうござい
ます。

昨年一年間は、新型コロナウイルスへの対応に明け暮れました。オンラインによる授業や会議、職員間の意見交換もメールで行うことが多くなりました。

そのこと感じたことがありません。対面の場合、人は相手の表情を見ながら話をしますし、節度をわかまえるのが普通です。しかし、相手が見えないメールや映像の中の相手に対しては、どうも言葉がきつくなったりぞんざいになったりするよりに感じました。やはり、人は人と向き合つて話をするのが大切で、ことに小学生の場合は、絶対に必要なことではないかと痛感しました。早くコロナ禍が終息して、元通りの生活に戻れることを願つてやみません。

子どもたちの笑顔のために

自由学園初等部

校長 佐藤 有子

新年あけましておめでとうござい
ます。昨年は世界中が大変な年でした。今までのあたりまえが決してあたりまえではないこと、学校に子どもたちの元気な声が響くことがどれだけうれしいことかと感謝する日々でもありました。

引き続き制限の多い中、二〇二一年がスタートします。子どもにとつて楽しい学校、安心して過ごせる学校でありたいと強く思います。子どもたち一人ひとりの笑顔のために私たち教師も笑顔を忘れずに、今できることに心を尽くし、思いを尽くしていきたいと思います。コロナ以前の学校生活に戻すのではなく、子どもたちと一緒に新しい学校生活を創り出していきたいものです。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

年頭所感

学習院初等科

科長 大澤 隆之

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年はコロナ禍に世界中が翻弄されました。本校も四月よりオンライン授業を余儀なくされ、ICT化の準備不足の中、動画作りや感染症対策に全力を挙げ、二学期末にはようやく教育課程を通常近くまで引き戻すことができました。行事も二学期に集中し、形を変えてでもできる限り行うように努め、国際交流も様々な手段で行いました。

その結果、この努力がICT化に勢いをつけ、国際化が進むことにもつながっています。

今後も、私学のひとつとして、「**重互敬**」に象徴される情操教育と力強い教科教育に一層努力して参りたいと思えます。

創立七十周年を迎える年に

聖マリア小学校

校長 門家 誠

明けましておめでとうございませす。昨年は本当に世界中が大変な年でした。この辛い経験がこれから長い人生を歩む子供たちにとって貴重な財産になってくれることを願ってやみません。おそらくコロナウイルス感染が無ければ、自分や家族そして周りの大切な人々の命を守る尊さについて皆がここまで真剣に考えて実行する機会は無かつたのではないかと思えます。

神様に守られて本校も今年創立七十周年を迎えることができました。記念行事は依然として難しい状況ですが、日々を喜び、祈りながら、感謝の気持ちを胸に、一人一人を大切にしていきたいと思えます。今年も宜しくお願い致します。

年度当初は、緊急事態宣言からの休校という厳しい状況にありました。児童も保護者も教職員も友達や同僚に会えず、オンライン学習やテレワークといった慣れない環境で一杯取り組む日々を過ごしました。学校が再開し児童が登校してくると、本校の良さを改めて感じる事が多くありました。友達と過ごす児童は輝いて見えました。教師と談笑する姿は、微笑ましく感じました。本校のスタッフが、子どもたちと一緒に学校を作ってくれています。保護者の皆様も学校を支えてくださっています。「ぐんま国際アカデミー」は、本当に良い学校です。そんな学校で教師である事の良さを感じられる私はずっと幸せです。本校が今後も成長を続けていけるように、私自身もこれからも努力を続けて参ります。

学校の良さを感ずる

ぐんま国際アカデミー初等部

副校長 野澤 弘道

新春のお慶びを申し上げます。二〇二〇年は新型コロナウイルスの対策に明け暮れました。その過程でどの学校も授業のオンライン化が促進されたことと思えます。

本校はカトリックの精神に基づいて、神様から与えられた一人ひとりの力を引き出しながら、集団の中でその力を何倍にも成長させる過程を大事にできました。その大切な場を封じられ戸惑いもありましたが、教員がICT技術と共存しながらも子どもと空間を同じくする生のやりとりを今まで以上に大切にしようになりました。本校でもこれからはタブレット等を使った授業がますます増えていくことでしょう。しかし教室の中で一生懸命聞いてくれる友達の無言のエールを感じながら、児童が発言する機会も大切に残していきたいと思っています。

子どもの生の声を大切に

横浜雙葉小学校

校長 田口 久美子

二〇二〇年は新型コロナウイルスの対策に明け暮れました。その過程でどの学校も授業のオンライン化が促進されたことと思えます。

本校はカトリックの精神に基づいて、神様から与えられた一人ひとりの力を引き出しながら、集団の中でその力を何倍にも成長させる過程を大事にできました。その大切な場を封じられ戸惑いもありましたが、教員がICT技術と共存しながらも子どもと空間を同じくする生のやりとりを今まで以上に大切にしようになりました。本校でもこれからはタブレット等を使った授業がますます増えていくことでしょう。しかし教室の中で一生懸命聞いてくれる友達の無言のエールを感じながら、児童が発言する機会も大切に残していきたいと思っています。

新しい年を迎えて

川村小学校
校長 川村 正澄

明けましておめでと〜うございませす。

昨年の流行語大賞は、「三密」。一年を表す漢字は「密」と、新型コロナウイルス感染症に振り回された一年を顧みることとなりました。日常生活、そして、子ども達の生活も「学校閉鎖」で一変しました。

しかし、想定外の事態になったからこそ、学校の、少なくとも川村小学校における授業のデジタル化が進みました。これまで、どうしても敬遠していましたが、児童と対面できない状況下、仕方ありません。学びの継続のために進まざるを得ませんでした。「GIGAスクール構想」も、もう怖くありません。「災い転じて福となす」です。

今年は、十二支二番目の「丑年」「子年」に蒔いた種が芽を出し成長するのだそうです。結果につながる道を

コツコツ耕し基礎を固めたいと思っております。

メタモルフォーゼ

近畿大学附属小学校
校長 森田 哲

新型コロナウイルスは突如出現し、瞬く間に世界に拡散した。その影響は多方面に及び、日本ではGIGAスクール構想の前倒しをもたらした。今年は、日本の教育にとって

歴史的な年として記憶されるだろう。四月からは全国の小中学校にひとり一台のPCが入る。あちらこちらで試行錯誤が始まるだろう。大きな混乱があるかもしれない。しかし、それは新しい世界への避けられないプロセスに過ぎない。

青虫はサナギとなって一定期間、動きを止める。酵素を放出して自らを溶かし、一から再構築を始めるのである。葉の上を這っていた青虫は、自由に空を舞う美しい蝶へと劇的な変化を遂げる。しかし感動的なこと

に、蝶は青虫だった時の自分を憶えているという。この国の教育がどんなに美しい蝶に生まれ変わるのか、楽しみながらこの一年を過ごしたい。

深謀遠慮

慶應義塾幼稚舎
舎長 杉浦 重成

新春のお慶びを申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の感染の拡がりにより、対策や対応に追われる毎日でした。標準予防策を徹底し、「児童の『安全』と『健康』を守る」ことを第一として過し、舎内でのクラスターを発生させないように努めてまいりました。

見方や視点を変えれば、常に変化の中に存在する私たちは、それを受け入れ、適応していかなければなりません。組織においては、「拙速」も「巧遅」も停滞を生じさせることがあります。現状に満足することなく、現時点での問題点を把握し、次にどう備えて、どう動けば事態が改善さ

新型コロナウイルスから学ぶ一年に

昭和女子大学附属昭和小学校
校長 柴田 芳明

いつもは夢と希望をもって迎える新年ですが、今年は新型コロナウイルスの影響で、先行きの見えない年の始まりになってしまいました。

しかし、これまでに経験のない訓練に、子どもたちと共に向き合い、それを乗り越えての今があるのではないかと思っています。このコロナ禍の生活の中でも、子どもたちが潜在的にもっている忍耐力を始め、適応力や創造力など、様々な力を引き出すことができたようにも思います。

れ、安定し、上手く運ぶかを常に考えて行く必要があると思われます。「深謀遠慮」を胸に秘め、今年も児童の『安全』と『健康』を守ることを第一とし、さらなる児童の発育を促せるように真摯に努めてまいります。

昭和学園は創立百年を迎え、次の新しいステージを歩み始めました。子どもたちの未来に役立つ新しい学び・環境を整えつつ、「すべては子どものために」を柱に、子どもの成長を願い、全力を尽くす一年にしたいと考えております。

今年もどうぞ、よろしくお願いいたします。

変
化の中で

日本女子大学附属豊明小学校
校長 山口博子

新春のお喜びを申し上げます。毎日登校できることの貴重さを実感した昨年、どちらの学校も大変なご苦労をされたことと思います。本校もコロナウイルスと根比べをするが如く、できることを探し出し、成長の場を確保してきました。従来から進めてきた「関心を持ち主体的に取り組む」考えながら話を聞く「提出期限を守る」等の学習姿勢により、休校時に始めたオンライン授業でも

成果を収めることができました。この経験を土台に、変化する社会においても「貢献できる人を育てる」方針のもと、教育内容を再構築する一年にしていきたいと思えます。

本年もよろしくお願い致します。

新
しい学びを
経験して

暁星小学校
校長 吉川直剛

謹んで新春のお慶びを申し上げます。新型コロナウイルスによって、世界が大きく変わってしまいました。これまで当たり前であったことが、出来なくなり、或いは無くなっています。オリンピックも今年に延期となりましたが、その他多くの行事が無くなりましたが、その他多くの行事が無くなってしまうと。本校でも、

東京地区教員研修会の会場校として、多くの先生方をお招きする予定でしたが、中止となってしまいました。しかし、この一年は、多くの学校、特に私学で盛んであった取り組

み、オンライン授業や画像配信など、新しい学びの一年でもあったと思えます。そして、改めて私学のパワーを感じた一年でもありました。本校での研修会は、このような経験を活かした形で、再び機会を頂戴出来れば幸いです。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

い
のち、生き

東京シユレ江戸川小学校
校長 奥地圭子

本校は、不登校の子どもの成長支援をする初の私立小学校として、昨年開校いたしました。教育機会確保法第一〇条にある不登校特例校にあり、不登校の小學生が増える中、保護者の強い要望を背景に設立準備、江戸川区の協力を得て旧上一色小を活用、定員五十一名の小さな学校としてスタートしました。

コロナ状況の中、難産ではありましたが、幸い子ども達は笑顔で走り

回っております。二年目に入る今年は、初年度の経験を土台に、子ども達の声に耳を澄ませ、より一人一人の、いのちが生き々と育つようすすめていきたいと思っております。よろしくお願い致します。

え
らい人になるよりも
よい人間に
なりたいたいな

同志社小学校
校長 横井和彦

本校は、校歌の歌詞にもあるように、児童に、「よい人間」に近づくために「良心」を日常の活動や学びから身につけて欲しいと願っています。それは、「良心教育」を建学の精神とし、「キリスト教主義」「自由主義」「国際主義」を教育理念とする同志社大学に連なります。

今日のような危機と恐れの時期にあつては、とりわけキリスト教主義の教育をとおして、希望と癒しをもたらすことが重要ではないでしょうか。今年もつながること、学びを止めないことをめざしてまいります。

学びは人に尊厳と活力を与えるものです。学びは社会を支える大きな基盤です。私たちの社会と世界がこの危機を乗り越えるために互いに協働することが求められている今こそ、本校の特色が発揮されるでしょう。

前を向いて

帝塚山小学校
校長 野村 至弘

コロナ禍がなかなか終息を見せない中、各位におかれましては、対応にご努力されていることと拝察いたします。一日も早く事態が落ち着き、今まで通り子ども達が思う存分活動できる世の中になることを祈るばかりです。

このコロナ感染拡大を防ぐために、様々な対策が講じられています。これにより、人々の意欲や向上心が大きく阻害されているように思えてなりません。日本中が消極的になってしまっているように感じます。これからの世の中、感染防止に

最大限配慮しつつ、その中でいかに充実した生活を送るかが大切だと考えます。まだまだスッキリ解決とはいかない現実ですが、前を向いて進んでいきたいものです。これこそが、私たち私学に期待されていることではないでしょうか。

人生を支える「子ども時代」

カリタス小学校
校長 内藤 貞子

あけましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のために休校が長引きオンライン授業を余儀なくされました。一方で大切な子ども時代をどのように取り戻してあげられるのかが大きな課題でした。秋のアスレチックフェスティバルで「日々の生活がどれだけ大切であるか身に染みまし」と宣誓した子どもたちに私は心が震えました。児童文学作家の石井桃子さんが子どもたちにこう呼びかけています。「子どもたちよ 大人

になってから 老人になってからあなたを支えてくれるのは 子ども時代の『あなた』です。子ども時代をしっかりと楽しんでください。私たちはこのことをしっかりと胸に刻み、多くの人と手を携えて子どもたちと過ごす日々を大切にしていきたいと思えます。

未来を拓く『なぎさSTYLE』

なぎさ公園小学校
校長 渡邊 あけみ

昨年は、年明け早々から世界中で新型コロナウイルス感染症への対応に腐心する年でした。しかし、本校では、四月の休校直後から、オンラインでの学習を全学年で行うことができました。児童の学びを止めない取組を可能にしたものとは？振り返るとプログラミング学習にいち早く取り組んでいく中で、ICT環境の整備やICT教育の必要性を再認識したからにはかありません。今年も『なぎさスタイル』の教育に磨きを

かけ、未来を見据えた新しい教育の創造に努めます。児童自ら世界の中の私、私の中の世界を大きく拡げることができるよう決意を新たにしています。今年もどうぞよろしく願いいたします。

引き続き感謝の一年で

啓明学園初等学校
校長 原田 泰宏

新春を心よりお慶び申し上げますと共に、本年もよろしくお願い申し上げます。

昨年は誰もが経験したことのないコロナ禍の中で、子どもたちや保護者、教職員・私学の仲間をはじめ、多くの皆様の助けをいただき一歩ずつ前進することができ、無事に新しい年を迎えることができました。改めて皆様に御礼申し上げます。依然コロナ禍の続く中、私たち自身の学校力、教育力が問われているところでもあります。その責任の重

さを胸に刻み、今後も子どもたちの幸せを願い共に真摯に向き合って参りたいと存じます。新たな一年も、何卒よろしくお願い申し上げます。

共生

光塩女子学院初等科
校長 影森 一裕

教職員の働き方改革を始め、コロナ禍の感染防止対策、クラス定員数の削減等、対応に迫られることが次々に出てまいります。これらに対処しつつも、次代を担う子どもたちにより良い教育を考えなければなりません。ICTを利用し学習の効率を高め、主体的に課題解決に向かう人を育てる取り組みが必要です。さらに大切なことは「一つの地球」の市民として受容、協働の世界造りに、それぞれの能力を生かし参画していく人を育てることでしょう。人間とは何者か、どのように生きるべきかの模範はイエス・キリストにあるのがカトリック学校です。恵まれ

た環境にある者として、社会的な弱者に心を向け、助けを必要とする人々に手を差し伸べることが出来る「人を大切にする人を育てる」というミッションに邁進してまいります。

今、大切なこと

聖坂養護学校小学部
校長 佐野 明紀

二〇二〇年のクリスマス。ツリーとリースは飾りましたが、ページェントは中止、礼拝のみとし、神様からのギフトに感謝しつつ新年を迎えました。幸い本校は守られており、未だ、コロナ感染者は出ておりませんが、このコロナ禍にあつては、新年を迎えても心から祝福の言葉が言えませんでした。

本校のスクールモットーである「神様に愛されている喜びの発露としての教育」、「神様からあずかっている賜を生かしあう教育」この使命。共感することが大切なのです。新たな一年は、新しい生活様式の

下、コロナの収束を願いつつ、神様の愛を共感し、そして、最も小さい者である子どもたちの心・賜に共感し、寄り添いながら、ともに育み、ともに歩んでゆきたいと思えます。

学びの深化を

相模女子大学小学部
校長 川原田 康文

二〇二〇年は、これまで予想していなかった対応を常に求められる年でした。しかし、教職員が一致団結をして、これまでも推進してきたICT機器を使って、子どもたちの学びを継続・創造させることができました。島崎藤村の「春を待ちつつ、」に「誰でもが太陽であり得る私たちの急務はただただ眼前の太陽を追ひかけることではなくて、自分等の内に高く太陽をかかげることだ」とあります。これからの変化の激しい社会で生きていく子どもたちに必要な力とは、自分に自信が持てる力、さらに伸び続けようとする力、挑戦し

続ける力であると考えます。新たに「探究の学習」も始めました。コーピングスキルを身につけた教師のサポートを受けながら、子どもたちは、さらに生き生きと学び続けることができると思っています。

新年を迎えて

日本大学藤沢小学校
校長 加藤 隆樹

明けましておめでとうございます。前例のない事態に収束を感じることなく、新年を迎えることになりました。多くの不安と多くの負担を強いられた中での教育活動ではありますが、子どもたちはあどけない笑顔で勉強に運動に取り組んでいます。一年生や二年生の低学年の児童でさえマスクをきちんと毎日着用し、登校してくると手洗いを言うなど、自分で気をつけて行動してくれています。

今年度は運動会や林間学校等全て中止となりましたが、九月に大学や

中学校・高等学校の施設を使い、六年生の児童に色々考えてもらいながら縦割りの遠足を企画しました。児童からは『楽しかった。』『お兄さんやお姉さんとお話ができて良かったです。』などの声が多く聞かれました。このような時だからこそ、本校の教育理念である『自主性と創造性』を成長させる良い機会と前向きに捉え、充実感や達成感を実感させられるように、みんなで明るく頑張りたいと思います。今年もよろしくお願いたします。

新
しい年によせて

白百合学園小学校
校長 根本 徳子

昨年は世界中が未曾有の経験を強いられた年でした。突然の休校措置により、何をどのように対応すべきか、試行錯誤の連続でした。全教師の知恵と協力を結集して現時点で何ができるのか、何をすべきかを考えて急遽オンラインによる授業を実践

しました。その結果、児童と保護者と繋がる事ができて、朝礼や授業では元気な児童に会え、保護者との面接や保護者会も行えました。改めて「繋がっている」ことの大切さを実感しました。また、他校の先生方からもオンラインの講演会や授業公開などのお知らせをいただき、大変ありがたかったです。できないことを悔やむのではなく、今できることを精一杯取り組むことを心にとめて、今年もよりよい明日のために希望をもって前に進んでまいりたいと思います。

年
頭所感

立教小学校
校長 佐々木 正

新年を迎えるたびに、学校の改革について考えます。そのためにしていることが二つあります。「キリスト教信仰に基づく人間教育」という本校の設立理念に立ち返り、歩みを真摯に振り返る。一人ひとりの子ども

もたちのために、現在に満足せずに改善すべきことは何かを考える。そのうえで教職員の祈りを土台として、子ども、保護者、教職員三者が互いに学び合う「学びの共同体」からにじみ出てくる、生まれ出てくる新しい教育活動に期待し、一步一步丁寧な歩みを進めます。本年も各校の教育活動から学ばせていただくことを楽しみにしております。

新
しい年に向けて

明星小学校
校長 森 日出夫

新春のお慶びを申し上げます。本校は、「誠実な心・たゆまぬ努力・気品」を校訓に、知・徳・体の調和のとれた広く国際社会に生きる人間教育をめざして、学力や体力の向上、豊かな心の育成を重点に、大分県下唯一の私立小学校だからできる特色ある教育を推進していこうと考えています。本校のある明豊キャンパスには、

幼稚園、中学校、高等学校、看護科があり、南こうせつ氏の手による校歌を共通の校歌としています。「夢をあきらめないで、勇気自分を信じ、愛をその手で育てながら」と校歌にあるように、思いやりのある人間性豊かな児童の育成に、全教職員がOneチームとなって邁進していきたくと考えています。

新
たな時代を
作(おこ)せ

作新学院小学部
部長 八島 禎宏

新年のご挨拶をさせていただきました。年頭に当たり、皆さまの弥栄をお祈りいたします。「いつもと同じことができる喜び」がどれほど有難いことだったのかを

コロナ禍の中、人との距離は保たなければなりません。大切なのは「心の密を保つ」ことだと、子どもたちにも伝えていきたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願致します。

感じたというのが昨年の総括でした。

ところで、本校は幼小中高を擁する作新学院の一翼を担う作新学院小学部です。本学院には建学の精神「作新民」があります。作新民とは、中国の古典『大学』の一節にある「新たる民を作（おこ）せ」から引用したものです。自己を常に新しくするという「新たにする民」を社会に送り出すことよって、社会全体を新しくしていくという重要な役割を担っていると自負しています。

withでもなくafterでもない。作新民の時代到来というのが新年の抱負です。

小

小ささを力に変えて

むさしの学園小学校

校長 青木 洋介

年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

新しく始まったこの一年が、皆様にとって、より豊かなものになりますことを、謹んでお祈り申し上げます。

す。

アフターコロナの世界がどうなるか。何か、大きな変革が起こるような印象を私は持っています。激しく潮流が変わる大海原に、小さな私達の小船が、どう漕ぎ出していくのか。教職員で知恵を絞り、力を合わせて、進んでいきたいと考えています。

都心から離れ、のどかな支線沿線に置かれた私達は、一学級二十名ほどという小ささもあって、コロナの対策も取りやすく、利点となるところも大いにありました。私達の特徴を生かし、新たな挑戦に向かってまいります。

本年も引き続き、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

コ

「コロナ禍でやりたいこと、コロナ禍の子どものたちから学ぶ」

文教大学付属小学校

校長 島野 歩

あけましておめでとうございませう。コロナ禍における変革の時代：今まで当たり前だと思っ取り組んで

きたことが、当たり前ではないことに気付かされた今、教育の原点に立ち返り、あらたな答えを創造していかなくてはいけない責務を感じております。

本校では、昨年九月に運動会を実施いたしました。本校に限ったことではないと存じますが、コロナ感染予防のために大きく形が変わる運動会となりました。校庭で全員が集まることなく競技をする学年のみが校庭に。応援は、各クラスに配信されたライブ映像を見ながら。予行まで不安もありましたが、子どもたちの活き活きとした声援が各クラスから聞こえてきたときには、その不安もかき消されました。子どもたちの心の柔らかなさに感動です。まさに、「コロナプスの卵」でした。大人である私たちは、もしかしたら、「こ

うあらねばいけない」というさまざまな既存概念にとらわれているのかもしれません。運動会はこうあらねばいけない。競技はこうあらねばいけない。：違いました。コロナ禍の厳しい状況にあっても、できることがたくさんあることを、子どもたちが教えてくれました。どんな状況の中でも歯をくいしばりながら懸命に

走る子どもの姿。勝利に喜び、負けに涙する子どもの姿は輝きに満ちていました。素晴らしいです。

「ここに卵があります。この卵をテーブルの上に立ててみてくださいい。」：私たちは、コロナプスでありたいと思います。

新たな変革の年が、新たな答えを創るやわらかな心から生まれる愛であふれた年になりますようお願い、これから進んでまいります。

今

こそ、夢と希望を！

七沢希望の丘初等学校

校長 小島 富司

新年明けましておめでとうございませう。日私小連に集う関係の諸先生方、本年もどうぞよろしく願い申し上げます。

年頭にあたり希望の思いを語りたいところですが、依然として新型コロナウイルス感染症の予防対策のための手立てを講じつつ、子どもたちの安心・安全な確保と『学びの充実』

を目指すことを先ずは決意を新たに
した次第です。

本校の校歌の中にこんな一節があ
ります。今日も明日も、夢と希望を
抱き、共に学び共に遊ぶ、大山を仰
ぎ見て、遙か大海を望む……。こ
んな時代、こんなときだからこそ、
私たち教師は子どもたちに向けて、
大いに夢と希望のあふれた語り(話)
をすることが大事かと思われま
す。そして、子どもたち自身も未来へ向
けて、自らの夢と希望を抱きその実
現へ向けた足がかりを築けるかどう
か、教師の役割は大きく、肝に銘じ
た新年です。

年 頭所感

平和学園小学校

校長 佐藤 陽明

平和学園小学校は茅ヶ崎の豊かな
自然に囲まれた環境で、ゆっくり流
れる時の中でイエス様の愛に溢れる
生き方を学びながら、教育を行っ
ている小学校です。

子どもたちは確実に強い自己肯定
感を持ち、失敗を恐れず、自己表現
することで、心が解放され、新しい
学びが始まります。

年頭の祈りは、コロナ禍の中でも、
子どもたちの日々の歩みに平和があ
ること。さらに、お互いを尊重し、
信頼関係を築くことです。

子どもを取り巻く環境が大きく変
化している現在、希望や目標を見失
うことがないように、子どもの成長
を見守り、教職員はどのような状況
下でも心豊かな環境を創っていく必
要があります。

子どもが、新たな経験を積み重ね、
より豊かな学びとして受け止め、将
来に向かって生き抜く力の基礎を身
に付けてほしいと願っています。



コ ロナで親子円満？ 人間関係を 学ぶ機会を

聖徳学園小学校

校長 和田 知之

CCC MARKETING HOLDINGS

株式会社が保護者に『親子関係に関
するアンケート調査』を実施しまし
た。自粛期間において、親子関係が
どのように変化したのか質問したと
ころ、四〇%弱の家庭が円満になっ
たと答えました。これ自体は大変結
構なことですが、どのように自粛期
間を過ごしていたかを聞くと時間が
増えたものが、動画配信サービス、
次いでレンタルDVD、三位がボー
ドゲーム・カードゲーム、四位がテ
レビゲームと言うことでした。ボー
ド、カードゲームを除き、子どもた
ちのコミュニケーション力の育成に
効果があるとはいえません。子ども
たちの人間関係を伸ばしていくに
は、やはり児童同士、児童と教師の
密な繋がりではないでしょうか。そ
のような関係を安心して持てる日が
早く訪れることを期待しています。



◆編集後記

今年も日本私立小学校連合会会報
新年号「新しい年への抱負」のご寄
稿をお願いしましたところ、一一〇
名を超える先生方から教育に対する
熱い思いを綴った原稿をいただきま
した。感謝申し上げます。



◆日本私立小学校連合会事務局より
明けましておめでとーございま
す。

本年もご指導ご鞭撻の程よろしく
お願い申し上げます。
事務局長 児玉 宏之
参 与 清水 良一
課 長 河野 陽子
係 長 長沼 莉宇
係 員 齋藤 美奈

令和3年度 日私小連研修会日程表

(令和2年12月22日現在)

研修会	実施回数	集録番号	期 日	場 所
西日本地区	63	425	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催中止	
東京地区	58	426	令和3年6月4日(金)	成城学園初等学校(東京都) (オンライン形式)
全国教頭	45	427	令和3年8月20日(金)	オンライン形式 (東京都)
全国夏季	65	428	令和3年8月19日(木)	オンライン形式 (東京都)
北海道・東北地区	50	429	令和3年10月15日(金)	聖ドミニコ学院小学校 (宮城県)
九州地区	46	430	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催中止	
関東地区	63	431	令和3年11月13日(土)	相模女子大学小学部 (神奈川県)
全国幹部	66	432	令和3年12月2日～4日(木～土) (12月2日 日私小連結成80周年記念式典)	アルカディア市ヶ谷 (東京都)

日本私学教育研究所と共催の初任者等研修会

研 修 会	期 日	場 所
初任者研修地区研修会		
小学校(東日本地区)	令和3年7月26日～7月28日(月～水)	クロス・ウェーブ船橋(東京都)
小学校(西日本地区)	令和3年7月28日～7月30日(水～金)	大阪ガーデンパレス(大阪府)
初任者研修全国研修会		
小中高校(東日本)	令和3年 月 日・日(・)	()
小中高校(西日本)	令和3年 月 日・日(・)	()
中堅教員(10年経験者等)研修会		
小中高校(東日本)	令和3年 月 日・日(・)	()
小中高校(西日本)	令和3年 月 日・日(・)	()

東日本地区は(東京地区と北海道・東北地区と関東地区)、西日本地区は(西日本地区と九州地区)を含む。

2020年代の教育宣言

2020年代、私たちは多くの節目を迎えます。学制施行から150年。「大正新教育・八大教育主張講演会」から100年。私立学校振興助成法公布から50年。殊に1941年、国民学校令に合わせた私立小学校廃止の動きから「初等学校」の灯を守り、日本私立小学校連合会が産声をあげて80年となります。これらの節目において常に私立小学校は存在感を示してきました。この歴史に誇りをいただき「一年樹穀、十年樹木、百年樹人」と言った古人にならい、私たちは新たな百年に向けて人を育てる営みを続けます。

2020年代は、人工知能(AI)の想像もつかない発達等によって劇的な社会変革を迎えると言われます。しかし、この潮流の中だからこそ、より人間らしく生きることを疎かにしない心と学力を育てる教育が私立小学校に求められています。

そのために、私たちは、

- 一、それぞれの建学の精神に則り多様な特長をもつ学校群として、伝統を重んじつつ、自由と人権、児童一人一人の個性を尊びます。
- 一、児童愛をかたときも離さず、児童の内なる可能性を引き出す方法を実践・探求します。
- 一、未来を切り拓く資質と心豊かな人間性を育成します。
- 一、真の世界平和と持続可能な環境の維持をめざして、広い視野をもって考え、共感する心や他者尊重の心を育みます。

私たちは、新たな時代に向けて私学人としての自覚を持ち、お互いに磨き合い、我が国初等教育の新たな創造をめざすことをここに宣言します。

2020(令和2)年6月12日

日本私立小学校連合会

脱「密」の時代の 教育の変容

成城学園初等学校

校長 渡辺 共成

皆様方、新年おめでとうござ
います。旧年中は、たいへんお
世話になりました。感謝申し上
げます。今年もどうぞよろしく
お願いいたします。

何と申しましても、今年は、
六月四日（金）に東京地区教員
研修会の会場校として、本校が
当たらせていただく光栄に浴し
ます。ただし、会場校と言いま
しても、コロナ禍の中、感染拡
大防止策として、基本はオンラ
イン研修会による開催方法を取
ります。全体会は、事前に撮影
した録画を午前と午後の二回動
画配信する予定です。「新しい生
活様式」が学校生活にも日常化
した今、多数の教員が一堂に会

するのは「密」そのものです。
脱「密」の新しい教員研修会方
法の提案として、先生方にはリ
モートでの協議にご参集いただ
きたいと思っております。

研修会・研究会に限らず、ウイ
ズ・コロナの時代に背中を押さ
れる形で、否応なしに学校教育
が変わらざるをえなかった昨年、
各校ではオンライン学習への取
り組みが進みました。私たちは
教育現場での今までの「密」の
良さを知りながら、脱「密」へ
と大きく舵を切りました。コロ
ナの収束・終息を願いつつ、か
つての「密」の時代は戻ってこ
ないことを自覚するようになり
ました。脱「密」の時代の新し
い教育方法について協議する場
を提供させていただくことにな
ります。一昨年、完成しました
本校校舎の紹介もリモートで行
います。東京地区教員研修会に
ご参加の皆様方、どうぞよろし
くお願いします。

